

## 長野市立博物館からの資料被災情報について

長野市立博物館より長野県立歴史館に報告された、長野市内の資料被災状況について、その内容を調査・研究委員会がまとめましたのでお知らせいたします。

長野市立博物館は非機関会員ではありますが、当該情報に関して全史料協内で共有することを承諾していただいております。

- 1, 「信州資料ネット」が立ち上がりました。フェイスブック・ツイッターなどで、長野市立博物館における毎日の活動をご報告いたします。「信州資料ネット」でご検索いただければと思います。
- 2, 信濃史学会が、この活動にご協力いただけることとなりました。

<https://www.shinano-shigakukai.jp/news/detail.aspx?id=268>

- 3, 10月31日までの活動状況、今後の予定をご連絡いたします。

### 【活動場所】 1か所

- 長野市立博物館、教室  
強制排気器と殺菌装置がつけました。

### 【活動内容】

- ある寺院の大般若経（550巻程度）の水の吸い取りを中心に行っています。カビが進んでいます。まだ、乾いていないものも見受けられます。大般若経の保全を最優先と考えています。今後の活動はこれが最優先となります。おそらく11月4日までには、すべての経巻が終わり、2順目の作業に入ると思います。
- ある寺院の掛軸の乾燥について。
  - ・被害を受けた2寺院のものはすべて乾燥済みです。
  - ・専門家からレクチャーを受けるとともに、資材のご提供を受けました。今後は、写真撮影・調書の作成を並行して行い、しかるべき保管場所に移したいと考えています。（大学も視野に）
- ある寺院の泥・水に浸かった文書は、冷凍したままです（段ボール1.5箱）。今後どうすべきか、保留中です。
- 長野市内の個人宅から典籍30点ほどが持ち込まれました。博物館職員が応急的にキッチンペーパーを挟みました。
- 長野市内の個人宅から御文・アルバムを預かりました。御文は2冊、即日にキッチンペーパーを挟みました。

○村文書を受け入れました（11/1）。筆筭2つにぎっしり入っています。

○長野市内の寺院から、掛軸・版木・経典などを新たに受け入れました。  
（10/31、11/1）

○長野市内の寺院から仏像数体をお預かりしましたが、水損していません。  
盗難防止のためです。

**【今後1週間の予定】**

○水損し、カビの生えた大般若経の保全を最優先したいと思います。

○受け入れた村文書の保全をおこないます。

○できましたら、罹災地域に入り、現地での資料の状況を確認できたらと思います。  
このことについて、皆様からのご提案や、ご参加についてご連絡いただければ幸いです。なお、まだ罹災地域は、日常生活に全く戻れていないため、こうした調査の経験のある方のご参加や、ご助言が頂ければと思います。

**【活動時間】**

9時から16時ころまで活動しています。

**【活動できない日】**

休館日は毎週月曜日と、祝休日の翌日です。

参加いただける方は、長野市立博物館（電話 026-284-9011）までご連絡お願いいたします。担当は原田和彦もしくは樋口明里です。

今後とも、どうかよろしくお願ひ申し上げます。